



# 創高～はじめ～

青森県立青森南高等学校  
教務部通信 第22号  
令和7年5月8日発行

## 51年目へ ～南高新たな歩み～

昨年度、本校は創立50周年を迎えました。また、グローバル探究科開科や国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの認定校となるなど新たな歴史の礎を築いた年でもあります。

今年度からIBコースが始まり、学校全体がさらに活気づいています。



IB開講式!!



IBコース授業一場面



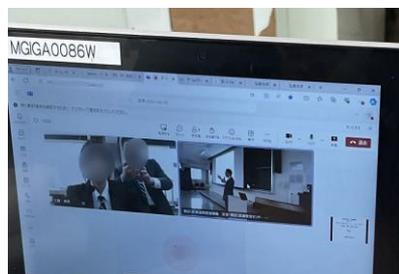
## 「高大連携公開講座」始まりました!!

本校は、令和4年度から弘前大学と連携し、大学指定の公開講座をオンラインで受講できるようになりました。今年度は、前期16名（4月～8月上旬）、後期26名（10月から2月上旬）の計42名が毎週1回受講しています。

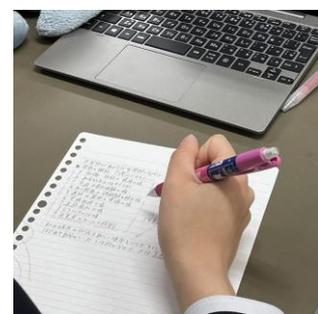
弘前大学の先生方からの一方的な講義ではなく、生徒側からの質問に先生方が丁寧に答えてくれるなど双方向型の場面もあります。興味や関心のあるみなさんは、教務部までください。

講義を聴きながら内容をまとめます

出欠はスマホで入力



話しやすい先生方ばかりです



## 一学期中間考査が始まります。

5月14日（水）から16日（金）にかけ、1学期中間考査が始まります。1週間前の5月7日（水）からは、原則、部活動が禁止となります。考査まで1週間ですが、学習計画を確認しながら、考査対策を行ってください。学習計画作成は受験勉強において重要な事柄の一つです。

## 夏服への移行について ～お知らせ～

夏服への移行については、以下のようになっています。

- 移行期間：5月7日（水）～
- 完全移行：6月1日（日）～

## 「日本学生支援機構」の奨学金について

4月11日（金）に3年生対象の説明会を行いました。現在、3年生が申請をしている最中ですが、1・2年生の生徒、保護者の皆さまにも知って欲しい情報があります。今年度から、給付型奨学金の対象者が拡大したので、確認をしてください。

### 日本学生支援機構奨学金の申し込み

現在、3年生対象に第一回申し込みの校内受付をしています。以下の表のように、第二回希望者の説明は6月12日（水）を予定しています。奨学金を希望する生徒は、締切日を遵守して可能な限り第二回までの期間で手続きを進めてください。

#### 【昨年度からの変更点】

- ①学校側への紙媒体での提出は、原則不要（ただし、マイナンバーがない方等は提出する書類があります）。
- ②多子世帯（扶養する子どもが同時に3人以上）への支援が拡充（給付、家計基準なし）
- ③理工農系の私立学校進学者への支援（給付、日本学生支援機構の指定する学校・学科）

（今後の予定）

回	希望者説明会	スカラネット×切	採用通知者決定予定 通知時期（予定）
第一回	4月11日（金）	5月23日（金）	10月下旬
第二回	6月11日（水）	7月1日（火）	11月下旬
第三回	個別対応予定	7月31日（木）	12月下旬

## Q 国の高等教育の修学支援制度とは

授業料・入学金の  
免除/減額



給付型奨学金の  
支給

進学をあきらめないで

修学支援制度とは、日本学生支援機構の給付型奨学金の支援と大学、専門学校などにおける授業料・入学金の免除または減額（授業料等減免）を併せて受けることができる制度です。給付型奨学金の対象となる方は、授業料等減免の対象にもなります。また、授業料等減免の手続きは、進学先の学校で行いますので、指示にしたがってください。

各種奨学金については、教務部が担当となっています。ご不明な点、ご相談がありましたら、教務部へ遠慮なくお問合せください。